

オールジャパンで結成する国際的なオンライン教育プラットフォーム

オールジャパンで多彩で魅力ある  
戦略的科目群を構成し、世界に  
発信。

日本発の  
ブランド・プレゼンスの向上

希望する全ての日本の大学が、自  
大学の強みある教育コンテンツを  
世界に提供。

世界や社会に通用  
性のある多様な知  
の科目の集積

日本文化、  
クールジャパン  
～日本語教育及び日本の  
強みを発信～



- ☞「各大学専用BOX」の提供とサポート
- ▶ プラットフォーム環境システム提供
  - ▶ ポータルサイト機能の提供
  - ▶ ポート機能の提供

開放性ある多様なスキーム  
☞ 無料講座、サーティフィケート等

海外協定大学等からも科目提供。

事業プロセス	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 <span style="color: red;">その先へ</span>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業戦略策定 (大学等ニーズ調査実施：7月中予定)</li> <li>● プラットフォーム構築                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ JV-Campusプロトタイプ版立上げ (9月予定)</li> <li>☞ 個別大学既存オンライン教育プラットフォームの紹介&amp;リンク</li> </ul> </li> <li>● テスト版の運用開始 (2022年初頭予定)</li> <li>● パイロット科目の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パイロット事業開始</li> <li>● 事業評価・見直し</li> <li>● 運営事業体設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パイロット事業継続・拡大</li> <li>● 事業評価・見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本格事業開始</li> <li>● 運営事業体への完全移行</li> </ul>

**WHY**

日本の高等教育機関における

- ▶ プレゼンス向上と強い教育経営基盤の実現
- ▶ 国内外の幅広い学生のニーズへの対応
- ▶ 世界とのバーチャル交流の促進等

**WHAT**

- ▶ 「Box-in-Box型」のオンライン教育プラットフォームシステムの構築と運営
- ▶ 開かれた教育に向けたコンテンツの提供と個人・機関のニーズに沿った継続的なアップデート
- ▶ 教育の質保証を伴った単位の付与・互換制度の構築
- ▶ 運営事業体の設置による自立・発展的運営の実現

**WHO**

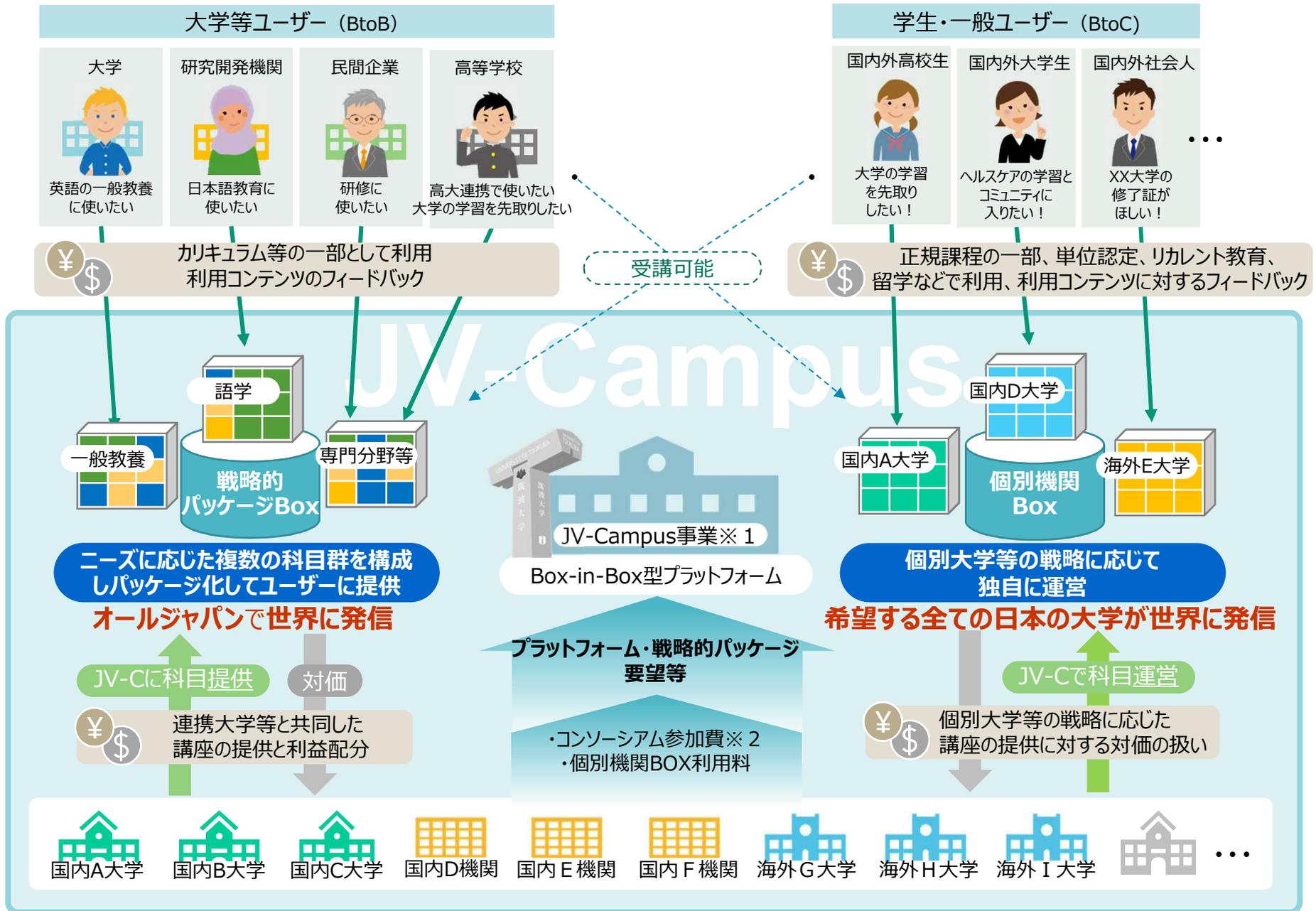
- ▶ 国内外高校生、大学生、社会人等
- ▶ 国内外大学等の教育機関等
- ▶ コンテンツ提供機関

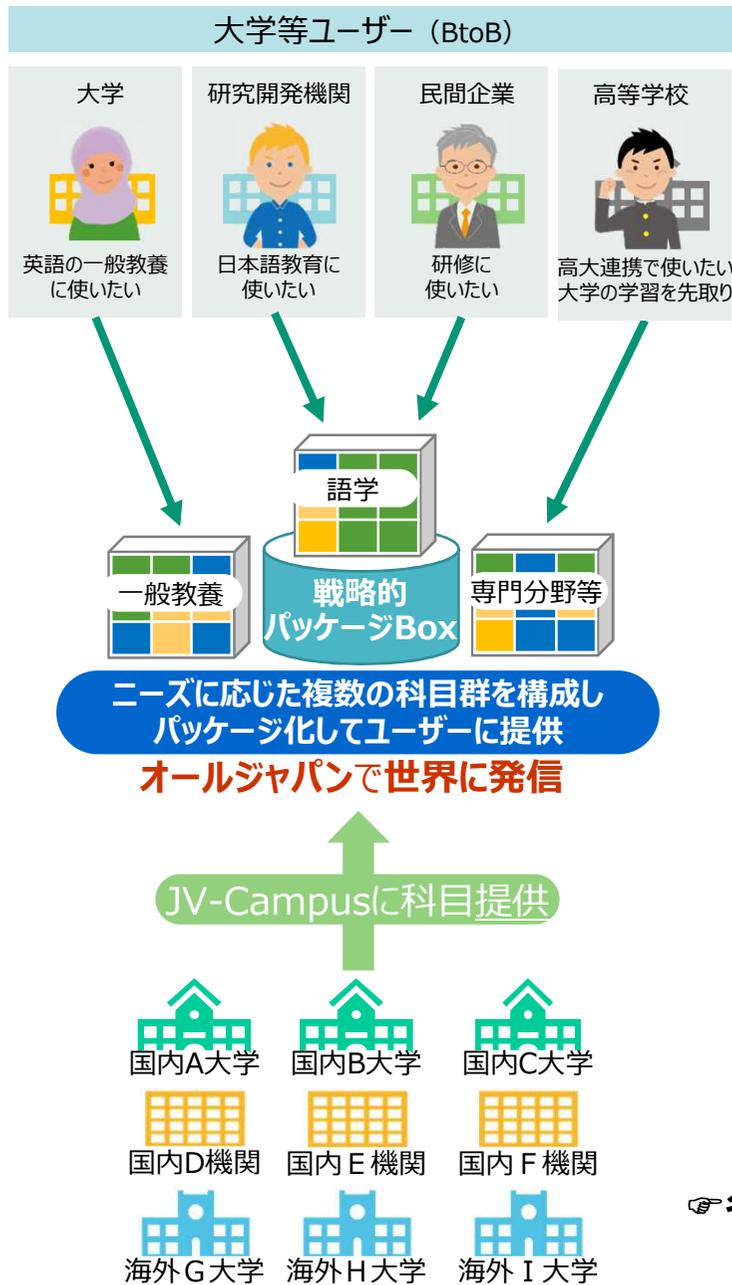
**HOW**

- ▶ Box提供モデル、BtoB (大学等ユーザー)、BtoC (及び学生・一般ユーザー) の3つのビジネスモデル
- ▶ 「国際化促進フォーラム」等と連携した国内外への取組発信

リカレント教育、地方創生への貢献

- ▶ 外国人含む職業スキルや生涯教育ニーズへの対応
- ▶ オンライン教育をきっかけとした地方への関心／移住なしに全国・世界の科目を受講





●JV-Campus事業側が、各大学等ユーザーに対し、**多数の国内外大学から構成・提供される科目群を「戦略的パッケージBox」として提供**

## ① ニーズに沿ったオンライン教育科目の提供

【内容】ユーザーニーズに沿った科目を事業体側が国内外大学等と協力して構築・提供する予定。

- 例 1) 留学生が来日する前に日本語科目の受講を促したい。
- 例 2) 留学前に英語や現地語を学習する機会を提供したい。
- 例 3) 英語による一般教養科目をカバーしたい。
- 例 4) 資格に必要な科目の補充をしたい。
- 例 5) 国際バカロレア (IB) 高校において、高大連携で利用したい。

## ② 単位、修了証、マイクロレデンシャル等の付与

【内容】JV-Campus参加校と協力し、単位・修了証・マイクロレデンシャルなどを付与する予定。

- 例 1) 留学前の日本語科目受講証書の発行
- 例 2) 企業向けに資格・リカレント教育成果としてのマイクロレデンシャル発行

## ③ オンライン教育の質の担保

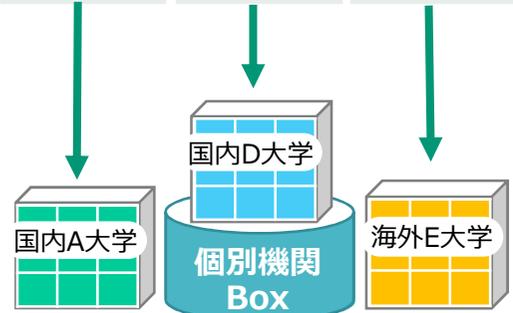
【内容】JV-Campusとしてシラバスやオンライン教育コンテンツの基準を規格化・明確化することで、教育内容の質を担保する予定。

【メリット】各大学等ユーザー組織において、単位認定が容易となる。

👉 **各大学の運営方針に沿った独自のオンライン科目受講が可能に**

学生・一般ユーザー (BtoC)

国内外高校生 国内外大学生 国内外社会人



個別大学等の戦略に応じて独自に運営

希望する全ての日本の大学が世界に発信

JV-Campusで科目運営



● JV-Campus事業側が、希望する全ての大学等が、自由に運営できる「各大学専用Box」(個別機関Box)を提供

サービス① プラットフォーム環境システムの提供

【内容】 受講管理・コンテンツ提供管理・課金管理などオンライン教育実施に必要なプラットフォームを提供する予定。

【メリット】 オンライン教育プラットフォームを持たない大学等が、一科目からオンライン教育コンテンツを提供し、自由に学生・一般ユーザーなどを集めることができる。自大学の強みとなる科目を国内外に向けて発信できる。

サービス② ポータルサイト機能の提供

【内容】 ポータルサイトとして、既存のオンライン教育プラットフォームへリンクする予定

【メリット】 すでにオンライン教育プラットフォームを構築運営している大学等に対し、ポータルサイトとしてユーザー獲得に向けたアクセシビリティ向上に寄与する。

サービス③ サポート機能の提供

【内容】 受講管理・コンテンツ提供管理・課金管理に関して、オンライン教育を支援するサポートセンター機能を提供する予定。

【メリット】 オンライン教育支援人材不足などを解決する。

👉 運営方針に沿った独自のオンライン教育提供が可能

国内外からの 多様なユーザー



**1**  
パッケージ  
提供

**2**  
単純な科目  
等の提供

**3**  
多様な国際  
戦略コンテン  
ツ提供



JV-Campus プリントフォーム規約に同意

パッケージとして  
Program/Certificateを提供  
例) 日本語講座シリーズ

既存/新規科目/科目  
群の提供  
例) 既存のオンライン科目  
MOOCs用開発済科目

国内外学生リクルー  
トコンテンツ、オンライ  
ンイベント等の提供  
例) オンライン大学紹介

JV-Campus ポータルサイト  
JV-Campus Platform



## 戦略的パッケージ BOX

☞ 多数の国内外大学が提供し  
構成される科目群

- ・ユーザーニーズへの対応
- ・単位、修了証、マイクロクレデンシャル等の付与
- ・コンテンツ基準の規格化・明確化による質の担保

2021年度は戦略的パッケージBOX科目のニーズ調査およびパイロット科目を作成・公開

※JV-Campusがユーザーニーズ及び国際化促進フォーラムの意見を踏まえつつパッケージ内容を決定

## 各大学独自Box (個別機関Box)

☞ 2つのパターン

- ① 単純リンク等  
→ポータルサイトの提供
- ② プラットフォーム等を持たない大学等  
→プラットフォーム環境システム提供

(2021年9月プロトタイプ版公開予定、2022年初頭β版開始予定)

## 2021年度利用料無料

※2022年度以降はニーズ調査の結果を元に金額を設定

- ①ポータルサイト利用料・・・検討中
- ②PF環境システム提供料・・・検討中

MEXT

立上げにかかる財政支援・国内外に向けた積極広報等

※「戦略的Box」コンテンツの有償・無償の判断の在り方については検討中

9月30日 ～10月30日	JV-Campus <b>プロトタイプ版の発表</b> （9月30日） 10月末までにJV-Campus機能・デザインを体験いただき 2021年初旬のテスト版運用開始に向けて 改善点などのフィードバックをいただく
2022年初旬	JV-Campus <b>テスト版の運用開始（パイロット事業開始）</b>
2022年度 2023年度	パイロット事業の評価、事業改善、事業拡大
2024年度	事業体による本格事業運営の開始
随時	戦略的Boxの開発、戦略的Boxのユーザー獲得 個別機関Boxのコンテンツ配信機関の募集 JV-Campusを活用した種々プロジェクト案の募集と実施 種々メディア等を介したJV-Campusの広報